受講番号・氏名：　　　　　番

施設・事業所名：

Ⅰは認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援の科目で記入します。

**Ⅰ．「認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援」自己課題の設定**

　これまでの自分自身のケアを振り返ってみましょう。

　認知症介護実践者研修での自分自身の課題を考えてみましょう。

**Ⅱ．前期研修の科目のレビューと学習成果の実践展開**

１．科目ごとのレビューと実践展開の記録・感想

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科目名 | 受講して学んだこと・実践してみたいこと | 学んだことを活かして実践した場面・実践した感想 |
| 科目ごとに、学んだことと実践してみたいことを書いてみましょう。 | Aに記入した「実践してみたいこと」を職場で実践した場合を想定して、どのような効果が予測されるかを書いてみましょう。 |
| 生活支援のためのケアの演習②(認知症の人の生活環境づくり) | A | B |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科目名 | 受講して学んだこと・実践してみたいこと | 学んだことを活かして実践した場面・実践した感想 |
| 科目ごとに、学んだことと実践してみたいことを書いてみましょう。 | Aに記入した「実践してみたいこと」を職場で実践した場合を想定して、どのような効果が予測されるかを書いてみましょう。 |
| 生活支援のためのケアの演習①(生活場面ごとの生活障害の理解とケア) | A | B |
| 生活支援のためのケアの演習③(中核症状の理解に基づくコミュニケーション) | A | B |

受講番号・氏名：　　　　　番

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科目名 | 受講して学んだこと実践してみたいこと | 学んだことを活かして実践した場面・実践した感想 |
| 科目ごとに、学んだことと実践してみたいことを書いてみましょう。 | Aに記入した「実践してみたいこと」を職場で実践した場合を想定して、どのような効果が予測されるかを書いてみましょう。 |
| QOLを高める活動と評価の観点 | A | B |
| 家族介護者の理解と支援方法 | A | B |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科目名 | 受講して学んだこと実践してみたいこと | 学んだことを活かして実践した場面・実践した感想 |
| 科目ごとに、学んだことと実践してみたいことを書いてみましょう。 | Aに記入した「実践してみたいこと」を職場で実践した場合を想定して、どのような効果が予測されるかを書いてみましょう。 |
| 権利擁護の視点に基づく支援 | A | B |
| 地域資源の理解とケアへの活用 | A | B |

３．事業所で取り組みたいことや課題と感じていることを２つ挙げてみましょう。

*

→その理由：

*

→その理由：

受講番号・氏名：　　　　　番

**Ⅲ．後期研修「学習成果の実践展開と共有」**

１．記録と感想を書いてみて、今改めて気付いたことや疑問点

２．印象に残った他の受講生の発言と気付いたこと